

平成29年度鳥取県アドバイザー派遣事業 鳥取県学校保健会養護教諭部会報告

テーマ 研究的な視点による実践レポート作成について

期日 平成29年7月28日(金) 9:30～16:30

場所 新日本海新聞社中部本社ホール

講師 元全国養護教諭連絡協議会会長 安藤節子氏

参加者 県内養護教諭・養護助教諭 73名

研修の概要

【講義1】 「学校保健と養護教諭の役割」～実践につながるヒントがいっぱい～

養護教諭の役割について、学校教育法や学校保健安全法を根拠に研修した。特に、学校教育法に記されている「養護教諭は児童の養護をつかさどる」の「養護」の解釈について詳しく学び、養護教諭の役割と仕事の重要性について再確認した。また、養護教諭の専門性が認められた「保体主事任用制度の改正」「教職員免許法改正」についても改めて研修した。本講義を通して、子どもを取り巻く心身の健康課題がますます複雑かつ深刻化する中、子どもの自立、幸せを目標に、心身ともに健康な国民の育成に携わっていることを実感した。

【講義2】 「子どもの健康課題の解決に向けて」～研究的視点による実践レポートの作成～

「いのちの教育」の実践を例に、子どもの健康課題の解決に向けた、研究的視点によるレポートの書き方やポイントについて具体的に学んだ。また、研究的視点を持ってレポートをまとめることにより、健康課題が明らかとなり、養護教諭自身の課題への取組が明確になること、健康教育実践者としての仕事の重要性を認識できることを学んだ。本講義を通して、養護教諭であることの「自信」と「誇り」を持って仕事に臨む意欲を高めることができた。

【個別指導・指導助言】 「実践レポート作成の実際」

平成30年度養護教諭部会研修会のシンポジスト3名が、各自の実践レポートをもとに個別指導を受けた。テーマやサブテーマの設定の仕方や、主題設定の理由の書き方について指導を受け、実践レポート作成の方向性が明確になった。それぞれがレポートをまとめる中で、自分自身の取組について考えを深めたり、今後の実践の意欲を高めたりすることができた。

成果と今後の課題

養護教諭の役割と職務について再確認することで、仕事への「自信」と「誇り」を持つことができた。研修を通して、児童生徒の健康課題を明確にし、研究の視点をもって実践・評価しレポートにまとめていくことが、健康教育の実践者としての養護教諭の専門性の向上につながることを学んだ。今後は、実践を積み重ね、レポートを完成させていくことで個々のレベルアップを図るとともに、研修会や研究集録を通して、県内養護教諭全体へ広げ、互いに高まり合っていきたい。